

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	253,618	4.5	17,779	49.0	18,820	47.0	13,937	27.0
2023年3月期第3四半期	265,627	19.8	34,885	3.9	35,517	3.9	19,093	11.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 34,169百万円 (25.3%) 2023年3月期第3四半期 45,712百万円 (48.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	70.55	
2023年3月期第3四半期	96.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	434,742	278,217	51.8
2023年3月期	399,174	255,318	51.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 225,284百万円 2023年3月期 203,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				38.00	38.00
2024年3月期				27.00	27.00
2024年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	341,000	2.8	21,700	42.8	22,500	41.9	15,000	29.3	76.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	199,699,743 株	2023年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,445,673 株	2023年3月期	1,995,612 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	197,565,560 株	2023年3月期3Q	197,704,143 株

(注)2024年3月期3Qの期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行(金銭信託課税口)」が所有する当社株式(1,450,000株)が含まれております。
また、「株式会社日本カストディ銀行(金銭信託課税口)」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は2023年11月9日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却について決議いたしました。2024年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得及び消却の影響を反映し算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は253,618百万円（前年同期比4.5%減）、売上総利益は84,394百万円（同9.7%減）、販売費及び一般管理費は66,614百万円（同13.6%増）、営業利益は17,779百万円（同49.0%減）、経常利益は18,820百万円（同47.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却による特別利益の増加や非支配株主に帰属する四半期純利益の減少などにより13,937百万円（同27.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、焼酎や清酒は減少いたしました。ソフトアルコール飲料や原料用アルコール等が増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、97,619百万円（前年同期比1.3%増）となりました。売上原価は、引き続き原材料価格の上昇の影響などはありませんでしたが、売上構成の変化などにより71,436百万円（同2.0%減）となり、売上総利益は、26,182百万円（同11.8%増）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費などが増加し、19,204百万円（同5.8%増）となり、営業利益は、6,978百万円（同32.2%増）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、米国、英国でウイスキーが引き続き増加し、清酒も増加いたしましたので、海外酒類事業の売上高は増加いたしました。海外日本食材卸事業の売上高も、米国や欧州などの個人消費の減速の影響を受けたものの、新規拠点の展開の寄与などもあり、増加いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、117,378百万円（前年同期比17.7%増）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い増加いたしました。海上輸送コンテナ価格の下落などもあり、80,013百万円（同16.2%増）となり、売上総利益は、37,364百万円（同21.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や賃借料などが増加し、28,431百万円（同27.0%増）となり、営業利益は、8,933百万円（同5.7%増）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置づけの変更による検査関連製品の販売減少、海外経済不況の影響を受けたライフサイエンス研究市場の低迷等により、29,734百万円（前年同期比50.6%減）となりました。売上原価は、売上高の減少などにより11,692百万円（同50.8%減）となりましたので、売上総利益は、18,041百万円（同50.5%減）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や研究開発費などが増加し、17,704百万円（同4.0%増）となり、営業利益は、336百万円（同98.3%減）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、物流事業や印刷事業などが減少いたしましたので、23,319百万円（前年同期比3.1%減）となりました。売上原価は、19,963百万円（同3.7%減）となり、売上総利益は、3,355百万円（同0.4%増）となりました。販売費及び一般管理費は、旅費交通費などが増加し、1,432百万円（同0.9%増）となり、営業利益は、1,923百万円（同0.0%減）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	対前年 増減率
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	29,241	27,188	△7.0
清酒	9,858	9,365	△5.0
ソフトアルコール飲料	30,791	33,089	7.5
その他酒類	4,198	4,228	0.7
本みりん	7,628	7,708	1.1
その他調味料	6,935	7,306	5.3
原料用アルコール等	7,696	8,730	13.4
計	96,350	97,619	1.3
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	12,891	15,102	17.1
海外日本食材卸	88,306	104,019	17.8
その他	2,826	231	△91.8
グループ内連結消去	△4,335	△1,974	—
計	99,689	117,378	17.7
タカラバイオグループ			
試薬	52,469	22,989	△56.2
機器	1,080	638	△40.9
受託	4,669	4,369	△6.4
遺伝子医療	1,985	1,737	△12.5
計	60,206	29,734	△50.6
報告セグメント計	256,246	244,732	△4.5
その他	24,069	23,319	△3.1
セグメント計	280,315	268,051	△4.4
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△14,688	△14,433	—
合計	265,627	253,618	△4.5

(注) 販売金額には酒税を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は248,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,538百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が8,813百万円、商品及び製品が4,624百万円、流動資産のその他が3,682百万円それぞれ増加し、現金及び預金が11,436百万円減少したことによるものであります。固定資産は186,690百万円となり、前連結会計年度末に比べ29,029百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が、建物及び構築物や建設仮勘定の増加などにより15,858百万円、無形固定資産が3,932百万円、投資その他の資産が投資有価証券の時価評価の増加などにより9,238百万円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、434,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ35,567百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は82,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,587百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2,881百万円、短期借入金が5,120百万円、1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払酒税が4,219百万円それぞれ増加し、流動負債のその他が3,519百万円減少したことによるものであります。固定負債は74,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,919百万円減少いたしました。これは主に社債が5,000百万円、長期借入金が4,730百万円それぞれ減少し、固定負債のその他が7,860百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、156,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,668百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は278,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,899百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が6,424百万円、その他有価証券評価差額金が4,003百万円、円安の進行により為替換算調整勘定が12,708百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は51.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月9日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	96,820	85,383
受取手形及び売掛金	69,717	78,531
商品及び製品	57,812	62,437
仕掛品	1,718	1,958
原材料及び貯蔵品	7,372	8,055
その他	8,765	12,447
貸倒引当金	△694	△761
流動資産合計	241,513	248,051
固定資産		
有形固定資産	88,890	104,748
無形固定資産		
のれん	10,668	12,850
その他	5,262	7,014
無形固定資産合計	15,931	19,864
投資その他の資産		
投資有価証券	30,573	35,879
その他	22,328	26,261
貸倒引当金	△64	△62
投資その他の資産合計	52,838	62,077
固定資産合計	157,661	186,690
資産合計	399,174	434,742
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,775	24,657
短期借入金	4,919	10,039
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	5,815	10,034
未払費用	6,368	7,427
未払法人税等	2,220	3,147
引当金	3,622	2,521
その他	22,733	19,213
流動負債合計	67,454	82,042
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	15,186	10,456
退職給付に係る負債	8,925	8,876
その他	32,288	40,149
固定負債合計	76,401	74,482
負債合計	143,856	156,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	1,994	1,994
利益剰余金	163,825	170,250
自己株式	△1,682	△3,433
株主資本合計	177,363	182,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,974	16,977
繰延ヘッジ損益	286	96
為替換算調整勘定	13,686	26,395
退職給付に係る調整累計額	△359	△221
その他の包括利益累計額合計	26,588	43,247
非支配株主持分	51,366	52,932
純資産合計	255,318	278,217
負債純資産合計	399,174	434,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	265,627	253,618
売上原価	172,125	169,224
売上総利益	93,501	84,394
販売費及び一般管理費	58,615	66,614
営業利益	34,885	17,779
営業外収益		
受取配当金	780	927
その他	609	826
営業外収益合計	1,389	1,754
営業外費用		
支払利息	235	300
為替差損	188	—
その他	334	412
営業外費用合計	757	713
経常利益	35,517	18,820
特別利益		
投資有価証券売却益	136	2,670
受取保険金	652	—
国庫補助金	63	—
その他	256	54
特別利益合計	1,108	2,724
特別損失		
固定資産除売却損	86	203
固定資産圧縮損	63	—
減損損失	—	75
その他	64	—
特別損失合計	214	279
税金等調整前四半期純利益	36,410	21,265
法人税、住民税及び事業税	9,619	7,142
法人税等調整額	1,026	△641
法人税等合計	10,646	6,501
四半期純利益	25,764	14,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,670	827
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,093	13,937

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	25,764	14,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	4,003
繰延ヘッジ損益	△40	△190
為替換算調整勘定	19,896	15,434
退職給付に係る調整額	124	157
その他の包括利益合計	19,947	19,404
四半期包括利益	45,712	34,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,654	30,596
非支配株主に係る四半期包括利益	11,057	3,572

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年11月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

株主還元および経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行います。また、あわせて当社の自己株式の保有方針に則り、自己株式の消却を行います。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
 (2) 取得しうる株式の総数 300万株 (上限)
 (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.52%)
 (3) 株式の取得価額の総額 30億円 (上限)
 (4) 取得期間 2023年11月13日から2024年2月20日まで
 (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付

3. 自己株式の消却の内容

- (1) 消却する株式の種類 当社普通株式
 (2) 消却する株式の総数 上記2.により取得する株式の全株式数
 (消却前の発行済株式総数に対する割合 1.50% (上限株数300万株の場合))
 (3) 消却日 2024年2月29日

上記取締役会決議に基づき、次のとおり自己株式の取得を実施いたしました。

- (1) 取得した株式の種類 当社普通株式
 (2) 取得した株式の総数 2,447,700株
 (3) 株式の取得価額の総額 2,999,897,650円
 (4) 取得期間 2023年11月13日から2024年2月2日まで
 (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	95,685	99,541	60,203	255,431	10,195	265,627	—	265,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	664	147	2	814	13,873	14,688	△14,688	—
計	96,350	99,689	60,206	256,246	24,069	280,315	△14,688	265,627
セグメント利益	5,276	8,454	19,403	33,135	1,924	35,059	△173	34,885

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などがあります。
2. セグメント利益の調整額△173百万円は、セグメント間取引消去57百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△231百万円です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造インターナショナルグループ	タカラバイオグループ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	96,963	117,061	29,733	243,757	9,860	253,618	—	253,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	656	317	0	974	13,458	14,433	△14,433	—
計	97,619	117,378	29,734	244,732	23,319	268,051	△14,433	253,618
セグメント利益	6,978	8,933	336	16,248	1,923	18,171	△392	17,779

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などがあります。
2. セグメント利益の調整額△392百万円は、セグメント間取引消去40百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△432百万円です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、減損損失75百万円を計上しております。